



世界史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 14 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入のこと。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

良い例	悪い例
	

〔I〕 次の文章を読み、下記の間 に答えなさい。

⑦ アフリカ大陸の北西部に位置するアルジェリア・チュニジア・モロッコの3カ国は、19世紀に入るとフランスによる植民地化が進み、第二次世界大戦後に独立をはたすまで、いずれもフランスの植民地となった。

これら3カ国のうち、最初にフランスによる植民地化が始まったのは、アルジェリアであった。アルジェリアについては、1830年に、当時のフランス国王である ① が兵を送り首都アルジェを占領したことで、フランスによる植民地化が始まった。フランスの占領に対して現地の人々は激しい抵抗を試みたものの、アルジェリアは、1842年に、七月革命で王位に就いたルイ＝フィリップによって直轄領とされた。こうして、アルジェリアはフランスの領土に組み込まれることになり、その後のプロイセン＝フランス戦争をきっかけに、多くのフランスの人々がフランス領アルジェリアに入植することになった。

チュニジアについては、ビスマルクが中心となって開催された1878年の ② 会議で、チュニジアにおけるフランスの優位がヨーロッパの列強諸国に承認されたことをきっかけに、フランスによる植民地化が始まった。フランスは、1881年に、チュニジアの首都チュニスを占領し、チュニジアを保護国とした。④

アルジェリアとチュニジアにおける優位を確立したフランスは、その南方に広がっているサハラ砂漠を掌握した後、さらにアフリカ大陸を東に横断して支配圏を拡大し、既に支配下に置いていた、アフリカ大陸の北東岸に位置する港であるジブチおよびアフリカ大陸の南東に位置する島である ③ との連結をもくろんだ。しかし、フランスは、エジプトを起点に南に向かってアフリカ大陸を植民地化しようとするイギリス⑤と衝突することになった。1898年に、現在のスーダンに位置する ④ という場所をフランス軍が占領したが、イギリス軍がこれを阻止しようと到着し、フランスとイギリスの軍事衝突の危機が生じた。フランスは、イギリスに譲歩し、スーダンにおけるイギリスの優位を認めた。この譲歩の結果、フランスは、1904年の英仏協商で、モロッコにおける優位をイギリスに認めてもらうことに成功し、モロッコの植民地化へと動き出した。一方、

1905年に、英仏協商に反対するドイツ帝国の皇帝ヴィルヘルム2世が、突如、モロッコ北端の都市タンジールを訪れ、モロッコの門戸開放のため列国会議の開催を求めるという事件を起こし、今度はフランスとドイツの対立が激化した。さらに、ドイツは、1911年に、モロッコの先住民の抵抗運動を鎮圧するためにフランスが出兵したのに対抗して、軍艦をモロッコに派遣してフランスを威嚇した。しかし、最終的には、ドイツがフランス領コンゴの一部を得ることで妥協し、モロッコは、1912年の ⑤ 条約で国土の大部分がフランスの保護国となった。

このようにして、アルジェリア・チュニジア・モロッコは、いずれもフランスによって植民地化された。すべての国がフランスからの独立を達成するには、アルジェリアが最終的に独立する1962年を待たねばならなかった。

問1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を解答欄に記入しなさい。

問2 文中の下線部㉗～㉙に関して、下記の間(ア)～(イ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

(ア) 下線部㉗に関して、もともとアラビア語で「日の没する土地」を意味する言葉で、アルジェリア・チュニジア・モロッコの3カ国を含むアフリカ北部一帯を指す言葉を何というか。

(イ) 下線部㉙に関して、現在、チュニジアの南東には、リビアが位置している。リビアは、アルジェリア・チュニジアと同様、長らくオスマン帝国の属領であったが、1912年に、オスマン帝国と支配権を争い勝利したヨーロッパのある国の支配下に置かれることになった。このヨーロッパの国はどこか。

- (ウ) 下線部㉔に関して、エジプトの南に位置するスーダンでは、イギリスの進出に対して、1881年から20年近くにわたって、イスラーム教徒たちが激しい抵抗運動を行った。この時、自らをマフディーと称して、イギリスに抵抗するイスラーム教徒たちの中心となった人物は誰か。
- (エ) 下線部㉕に関して、この時、ドイツは大西洋に臨むモロッコ西南岸のアガディールに軍艦を送ったが、その軍艦の名は何か。
- (オ) 下線部㉖に関して、アルジェリアでは、第二次世界大戦後、独立を求める民族解放戦線(FLN)と独立に抵抗するフランス人入植者や軍部との間で長い間戦争が続いたが、1962年に独立が達成された。このアルジェリアの独立は、同年にジュネーヴ(レマン)湖畔にあるフランスのある都市で締結された協定によって認められたものである。このフランスの都市はどこか。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の間 に答えなさい。

東南アジアは、大陸部と諸島部の2つに分かれる。大陸内陸部では、紀元前1000年紀に始まった稲作の発展を基礎にして、ベトナム北部から中国西南部の雲南省を中心にスキタイ美術や中国の青銅器文明の影響を受けた金属器文化が生まれた。この文化の象徴である ① の出土地の分布から、この稲作民の文化がマレー半島をへて、諸島部にまで広がっていたことがわかる。他方、大陸沿岸部では、漁労民の文化である ② 文化が興隆した。前近代を通じて東南アジアの諸文化は、南シナ海とインド洋を結ぶ東西交易を通じて取り入れた外来の文化と、こうした土着の文化を融合させて独自の文化を作り上げていった。

紀元前後から、南シナ海とインド洋とをむすぶ海上交易が本格化した。これは、モンスーンという気象条件を利用した沿岸づたいの帆船航海が一般化したことによる。こうした海上交易の発展は、マレー半島や大陸沿岸部に、船舶の乗り継ぎや風待ちのための中継地としての機能、香辛料など他の地域が求める豊富な物資の生産地としての機能といった多くの機能を持つ都市を誕生させ、これらを支配する在地権力の形成を促した。こうした都市の中から、メコン川下流域に建国された ③ や、 ② 文化を基礎にして発展した ④ といった都市国家群を支配する大国も登場した。

他方内陸部でも、秦漢帝国の発展によって交易が活発化したことに影響されて、内陸交易網が発達し、これが海上交易と結びつけられていく。イラワディ川中流域では、1世紀からピュー都市国家群が成立した。5世紀になって、ピューが ③ と結ばれると、両者間の中継交易によってチャオブラヤ(メナム)川中・下流域でモン人の国家である ⑤ が勢力をのぼした。

東南アジア東西交易の発展を背景として、4世紀末から5世紀にはいると、東南アジアの諸国家は、ヒンドゥー教や仏教、サンスクリット語などのインド文明を積極的に取り入れるようになった。この頃に東南アジアを訪れた『仏国記』の著者は、ヒンドゥー教が盛んな様子を伝えている。大陸内陸部では、7世紀中頃に南インドからあらたな稲作技術が伝わり、 ⑤ やカンボジアの平原地帯で水田の開発がすすんだ。こうした農業の発展はこれらの地域に強大な国家が建設

される基礎となった。

7世紀になると、航海技術の発達により、沿岸部を航行するルートに代わり、マラッカ海峡を通過する海洋ルートが栄えるようになった。このようなルートの変更によって、新たな東西交易の中継拠点として、スマトラ島の勢力が力を増していく一方、③などの旧ルート上の勢力が衰退した。その後8世紀になると、ジャワ島中部の王朝が強大な海軍力で上記のスマトラ島の勢力に取って代わり、④東南アジアの海路を制した。この勢力はさらにカンボジアに宗主権をもち、④に進攻するほどの大発展をみせた。

問1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を解答欄に記入しなさい。

問2 文中の下線部⑦～⑩に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は解答欄に記入しなさい。

- (ア) 下線部⑦に関して、この文化は紀元前4世紀頃から東南アジア各地に広がったが、この文化は何と呼ばれているか。
- (イ) 下線部⑧に関して、このような機能を持つ都市を基盤とする国家は何と呼ばれているか。
- (ウ) 下線部⑨に関して、この著者は東晋の仏僧で、陸路でインドに入り、各種の仏典を得て、スリランカから海路で帰国したが、この人物は誰か。
- (エ) 下線部⑩に関して、7世紀にスマトラ島東南部を中心に建てられた国の中心として栄えた、スマトラ島東部の都市はどこか。
- (オ) 下線部⑪に関して、大乘仏教を保護するこの王朝により、8世紀には5層の回廊の浮き彫りと504体の仏像により仏教的な世界観を表す寺院がジャワ島に建てられたが、それと同時期にジャワ島に存在した古マタラム国によって建設されたヒンドゥー教寺院群は、何と呼ばれているか。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。

中国史において、異なる王朝や政権が、同一の国号を名乗った事例は多い。「漢」という国号もその一つである。

「漢」はもともと地名だった。長江の支流である河川を指して「漢」・「漢水」・「漢江」などと呼んだ。また、この河川の上流にある「漢中盆地」一帯の地域を指して、「漢」・「漢中」などと呼んだ。

秦の時代の末、①の乱を皮切りに、各地で反乱が起きた。群雄の中の一人で漢中の地に封じられた劉邦は、漢王を名乗り、楚の項羽と天下を争った。勝利した劉邦は紀元前 202 年に皇帝となり、新しい王朝を建てた。一地方名だった「漢」は、全国的な統一王朝の国号となった。

紀元 8 年、漢王朝の外戚であった王莽はみずから皇帝となり、「新」という王朝を建てた。しかし、王莽の悪政により②の乱が起こり、新はわずか 15 年で滅亡した。紀元 25 年、漢の第 6 代皇帝・景帝の子孫である③が皇帝(光武帝)となり、新しい王朝を建てた。

③は王朝の国号を「漢」と定め、いったん滅びた漢王朝の復興ないし中興という体裁をとった。しかし、彼の王朝は実質的には新しい政権であった。後世、劉邦が建てた王朝と③が建てた漢王朝を、それぞれ「前漢」・「後漢」と呼び分けて区別する。

後漢は 220 年、魏によって滅ぼされた。漢の景帝の子孫と称する劉備は、蜀の地で独立し、皇帝となった(昭烈帝)。劉備が建てた王朝の自称も「漢」であり、魏によって簒奪された漢王朝の再興という体裁をとっていたが、実際は地方独立政権のままで終わり、後世「蜀」ないし「蜀漢」と呼ばれる。

その後も戦乱のたびに、「漢」という国号を自称する王朝や地方政権が何度も誕生した。それらの「漢」の創始者は、しばしば非漢民族であった。

五胡十六国時代には、「五胡」と称された異民族の出身である劉淵が、皇帝を名乗って華北に王朝を打ち立て、国号を「漢」とした(後に「趙」と改称。後世の呼称は「前趙」ないし「漢趙国」)。また蜀の地でも非漢民族が「漢」を国号とする独立政権を建てた(後世の呼称は「成漢」)。

南北朝時代に、南朝の梁で反乱を起こした ④ も、皇帝を自称して国号を「漢」と定めたが、半年足らずで滅んだ。

五代十国時代にも「漢」を国号とする王朝・政権が3つあった。

⑤ 元の時代の末、 ⑤ の乱が起き、各地で群雄が挙兵した。そのうちの一人、陳友諒は皇帝を自称し国号を「大漢」としたが、朱元璋(後の明の初代皇帝)と戦い、敗死した。陳友諒の政権は後世「陳漢」と呼ばれる。

「漢」を自称した歴代の王朝や政権のうち、中国の統一に成功したのは、前漢と後漢だけであった。「漢」以外にも、政権や王朝の創始者が、自分の姓や封地、政策理念などの理由から、過去の王朝と同一の国号を名乗った事例は、中国史では少なくない。

問 1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われるものを下記の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

[語 群]

- | | | |
|-------|-------|---------|
| A 劉 秀 | B 劉 徹 | C 劉永福 |
| D 劉 裕 | E 劉少奇 | F 陳勝・呉広 |
| G 紅 巾 | H 黄 巾 | I 黄 巢 |
| J 安 史 | K 洪景来 | L 赤 眉 |
| M 李自成 | N 侯 景 | O 永 嘉 |
| P 赤 壁 | Q 八 王 | R 吳 |
| S 王叔和 | T 司馬炎 | U 昭明太子 |
| V 劉 向 | W 劉 禪 | X 呉楚七国 |

問 2 文中の下線部㉗～㉙に関して、下記の間(ア)～(イ)に答えなさい。解答は各問の選択肢の中からもっとも適切と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 下線部㉗に関して、次の記述のうちもっとも正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 劉邦の初代皇帝としての廟号は「太宗」で、通称で「世宗」とも呼ばれる。
- B 劉邦の初代皇帝としての廟号は「高祖」で、通称で「世祖」とも呼ばれる。
- C 劉邦の初代皇帝としての廟号は「聖祖」で、通称で「高祖」とも呼ばれる。
- D 劉邦の初代皇帝としての廟号は「太祖」で、通称で「高祖」とも呼ばれる。
- E 劉邦の初代皇帝としての廟号は「世宗」で、通称で「太宗」とも呼ばれる。

(イ) 下線部㉙に関して、次の記述のうちもっとも正しいものはどれか。

[選択肢]

- A 前漢の首都は咸陽、後漢の首都は長安だったので、それぞれ「東漢」・「西漢」とも呼ぶ。
- B 前漢の首都は長安、後漢の首都は洛陽だったので、それぞれ「西漢」・「東漢」とも呼ぶ。
- C 前漢の首都は洛陽、後漢の首都は咸陽だったので、それぞれ「西漢」・「東漢」とも呼ぶ。
- D 前漢の首都は洛陽、後漢の首都は長安だったので、それぞれ「西漢」・「東漢」とも呼ぶ。
- E 前漢の首都は長安、後漢の首都は洛陽だったので、それぞれ「東漢」・「西漢」とも呼ぶ。

(ウ) 下線部㉔に関して、次の記述のうちもっとも正しいものはどれか。

〔選択肢〕

- A 「五胡」とは、匈奴・突厥・羯・氐・羌の5つの異民族を指す。
- B 「五胡」とは、匈奴・鮮卑・烏桓・柔然・突厥の5つの異民族を指す。
- C 「五胡」とは、匈奴・東胡・狄・戎・羌の5つの異民族を指す。
- D 「五胡」とは、匈奴・犬戎・羯・氐・羌の5つの異民族を指す。
- E 「五胡」とは、匈奴・鮮卑・羯・氐・羌の5つの異民族を指す。

(エ) 下線部㉕に関して、次の記述のうちもっとも正しいものはどれか。

〔選択肢〕

- A 後世それぞれを、五代の「南漢」、十国の「北漢」・「後漢」と呼び分け
区別する。
- B 後世それぞれを、五代の「後漢」、十国の「越漢」・「蜀漢」と呼び分け
区別する。
- C 後世それぞれを、五代の「北漢」、十国の「南漢」・「後漢」と呼び分け
区別する。
- D 後世それぞれを、五代の「北漢」、十国の「南漢」・「蜀漢」と呼び分け
区別する。
- E 後世それぞれを、五代の「後漢」、十国の「北漢」・「南漢」と呼び分け
区別する。

(オ) 下線部④に関して、次の記述のうち誤っているものはどれか。

[選択肢]

- A 五代十国時代の二つの「唐」は、後世それぞれ「後唐」・「南唐」と呼ばれる。
- B 唐の国政を握った則天武后(武則天)は、皇帝に即位して国号を「周」と改称した。
- C 南北朝時代の「後周」も、五代十国時代の「北周」も後世の呼称で、自称は「周」であった。
- D 五胡十六国時代に建国された「魏」(北魏)は、後に「東魏」と「西魏」に分裂した。
- E 北宋と南宋の皇帝は趙姓だったが、南北朝時代の宋の皇帝は劉姓だった。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問題に答えなさい。

ベトナム戦争への膨大な戦費支出や日本・西ドイツなどの先進工業国の躍進によってアメリカの貿易収支は悪化し、1971年、ニクソン大統領は、ドルと金の兌換停止や輸入課徴金の導入を発表した。その結果、米ドルの価値は下落し、これを受けて主要各国は変動相場制に移行し、ドルを基軸通貨としてアメリカが戦後世界経済を支えてきた 体制は崩壊した。また1973年の第1次石油危機を契機に、世界経済は長期的な不況に陥った。他方で、ニクソン政権は、海外への過剰な介入を控える方針を発表し、1970年代、アメリカとソ連は緊張緩和(デタント)の時代に入り、両国による軍縮も進展した。しかし、1979年のソ連によるアフガニスタン侵攻やアメリカの 政権による戦略防衛構想(SDI)などの軍備拡大は、両国の緊張緩和に水を差すとともに両国の経済にとって大きな打撃となり、アメリカは財政・貿易の赤字が拡大した(「双子の赤字」)。その次の政権は、ソ連のゴルバチョフ政権と協調して、冷戦の終結に成果を上げ、マルタ会談では冷戦の終結が宣言された。

冷戦終結によりソ連と軍事的に対決する必要のなくなった 政権は内政を重視し、景気は長期的に拡大し、財政赤字も解消された。他方で、 は、中東問題ではイスラエルとパレスチナ解放機構(PLO)の間を仲介し、パレスチナ暫定自治協定の成立に働いた。

しかし、冷戦秩序が消滅するにつれて、世界各地で地域覇権紛争や民族的・宗教的対立による紛争が多発するようになった。またアメリカ主導による市場原理のグローバル化のもとで経済競争が激しくなるにつれて、貧富の差が拡大し、国際社会レベルでも摩擦が増え、テロや犯罪が多発するようになった。2001年9月11日には同時多発テロ事件が起きたが、当時のアメリカ大統領は、「テロとの戦い」を発表し、イスラーム急進派の組織 が事件の実行者であるとして、同年10月、アフガニスタンに対して軍事行動を起こし、 を保護していたターリバーン政権を消滅させた(アフガニスタン戦争)。さらに彼は、 ・イラク・北朝鮮を「悪の枢軸」と呼び、サダム＝フセイン政権下のイラクが核・生物・化学兵器などの大量破壊兵器を保有し、中東地域に脅威を与え

ているとして、2003年3月、イラクに対して武力を発動し、フセイン政権を倒した(イラク戦争)。

問1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われるものを下記の語群から一つずつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

[語群]

- | | |
|------------|--------------|
| A バース党 | B ウィーン |
| C フォード | D ミャンマー |
| E 資本主義 | F G.H.W.ブッシュ |
| G ムスリム同胞団 | H カーター |
| I ヴェルサイユ | J クリントン |
| K ブロック経済 | L アル=カーイダ |
| M キューバ | N ジョンソン |
| O プレトン=ウッズ | P シリア |
| Q G.W.ブッシュ | |
| S イラン | T イスラーム救国戦線 |
| U レーガン | V シーア派 |
| W リビア | X オバマ |

問2 文中の下線部㉗～㉙に関して、下記の間(ア)～(オ)に答えなさい。解答は各問の選択肢の中からもっとも適切と思われるものを一つ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

(ア) 下線部㉗に関して、次の記述のうちニクソン大統領在任中の出来事でないものはどれか。

[選択肢]

- | | |
|--------------|-------------|
| A 米中国交正常化 | B 沖縄の日本復帰 |
| C 中国の国連代表権交替 | D 米軍のベトナム撤退 |
| E 核不拡散条約の発効 | |

(イ) 下線部④に関して、次の記述のうち誤っているものはどれか。

[選択肢]

- A 第1次戦略兵器制限交渉(SALT I)はニクソン大統領の訪ソの際に調印された。
- B 1972年には核兵器の現状凍結協定が、翌73年には核戦争防止協定が調印された。
- C 第2次戦略兵器制限交渉(SALT II)は、アメリカ議会上院が条約の批准をしなかった。
- D 中距離核戦力(INF)全廃条約は、アフガニスタンからソ連軍が撤退した後に調印された。
- E 第1次戦略兵器削減条約(START I)は、米ソ双方が核弾頭を6000発、その運搬手段を1600基(機)以下に削減することを内容とした。

(ウ) 下線部⑤に関して、次の記述のうち誤っているものはどれか。

[選択肢]

- A この政権は、小さな政府をめざし、減税や規制緩和による投資促進や福祉予算など非国防支出の削減を行った。
- B この政権は、強いアメリカを誇示し、ニカラグアでの反政府ゲリラ組織支援やグレナダ侵攻など第三世界での反米ナショナリズムを抑えるための強硬策をとったが、軍事支出の突出は財政赤字を膨張させた。
- C この政権が発表した戦略防衛構想(SDI)は、莫大な資金がかかるうえ、技術的にも難題が多いことから中止され、その後そのかわりに戦域ミサイル防衛構想(TMD)が立てられた。
- D 1985年、アメリカの貿易赤字解消のため、先進5カ国の蔵相と中央銀行総裁がドル安政策に関して合意した。
- E 日本との間に貿易摩擦が生じ、1985年より開始された日米構造協議において、アメリカは日本に対して、内需拡大、市場開放、輸出規制を求めた。

(エ) 下線部㊸に関して、この時のイスラエルの首相は誰か。

[選択肢]

- A シャロン B ベギン C ラビン
D アラファト E ムバラク

(オ) 下線部㊹に関して、次の記述のうち誤っているものはどれか。

[選択肢]

- A イラクへの攻撃は、イギリス・フランス・ロシア・中国などが反対するなか、アメリカ・カナダ・オーストラリアで構成された多国籍軍で行われた。
- B イラク戦争では、日本も復興支援のために自衛隊をイラクに派遣した。
- C ターリバーンは、もともとソ連のアフガニスタン侵攻に対してアメリカの支援で戦った民兵から生まれた組織であった。
- D ターリバーン政権消滅後のアフガニスタンでは、国際連合の主導で締結されたボン合意に基づき暫定政権が成立した。
- E 2004年、アメリカは、イラクで大量破壊兵器が確認できなかったことを認めた。